

関西大学 巨樹・大木+博物館+α

- 1. 巨樹・大木とは
- 2. 日本の巨樹・巨木
- 3. 関西大学の巨樹・大木

① 関大の巨樹の樹齢

関大の象徴木 9本立クスノキ460cm →
 いつ植樹されたかについて、関西大学博物館にも紹介してもらい調べた。
 下の昭和4年頃に撮影された空中・地上写真で、クスノキが見当たらないので、昭和10年代に植樹されたとして80年、少し大きな木(樹齢20年程度)が植えられたとして、現時点の樹齢100年程度と推定している。



昭和4年頃空中写真

2016/07/06 15:24



昭和4年?地上写真

左から、クラブハウス(大正15年10月竣工)、予科校舎(大正11年4月竣工)、大学本館(昭和2年3月竣工)、千里山図書館(昭和3年4月竣工)、手前、大運動場(大正15年8月竣工)

② 日本の巨樹ベスト12

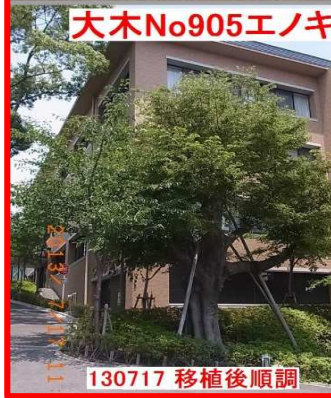


蒲生の大楠(鹿児島県始良市)
 幹周り24.2m、樹高30m
 樹齢推定1500年

11/13/2017 14:49

1. 鹿児島県・始良市 クスノキ(蒲生の大楠) 2422cm
2. 静岡県・熱海市 クスノキ(来の宮の大楠) 2390cm
3. 福岡県・築城町 クスノキ(大楠) 2100cm
3. 佐賀県・武雄市 クスノキ(川古の大楠) 2100cm
3. 鹿児島県・大口市 エドヒガン(なし) 2100cm
6. 福岡県・宇美町 クスノキ(衣掛の森) 2000cm
6. 佐賀県・武雄市 クスノキ(武雄の大楠) 2000cm
8. 大分県・大分市 クスノキ(なし) 1850cm
9. 福岡県・朝倉町 クスノキ(隠家の森) 1800cm
10. 高知県・須崎市 クスノキ(大谷のクスノキ) 1710cm
10. 鹿児島県・志布志町 クスノキ(志布志の大楠) 1710cm
12. 鹿児島県・上屋久町 スギ(縄文杉) 1610cm

③関西大学の巨樹・大木さまざま



↑ 大木を避けて連絡路が作られた 伐採をまぬがれた木、移植されたエノキ ↑

← 伐採された百周年記念会館プール入口 プラタナス

↓ 第2学舎前クスノキ巨樹2本の20年間 ↓





関大正門北東側にあるクスノキは、左写真のように、20年前から順調に育っている。

1997年366cm
2007年390cm
2017年411cm

所が、右写真で見られるように、1997年にはその東側に大きく枝を広げている木(クスノキ)があった。

この木の幹周りは**445cm**、1997年時点で、内本町民家クスノキが440cmであったので、1本立の木の吹田市No1であった。この木が無くなっているのに気付いたのは2006年、クスノキが腐朽菌に侵され、枯れ始めたため、切ったとお聞きした。

1997年当時、簡文館前9本立クスノキを幹周り単純計で**1223cm**ありとして、吹田市No1の木としており、1本立を重視していなかったことで、見逃していたもので、非常に残念である。



↑ 図書館南側クロマツ・メタセコイア 1997年時点で大木としていた木で、両種とも保護樹木に指定されている。

凜風館前メタセコイアは、2007年調査時大木ラインに到達 →



(巨樹・大木調査について)

環境庁(当時)は1988年度に初めて全国一斉の巨樹・巨木林調査を実施し、**幹周3m以上の巨樹が56,000本**、更に2001年度のフォローアップ調査で**64,000本**が報告されている。

吹田市では、すいた市民環境会議が発足した1997年、市内の大きな木を調査することにしたが、1988年調査で巨樹が5本しか記録されていないことがわかり、**幹周2mにスケールダウンした大木調査**を行った。

この結果、1997年に420本の大木があることを報告したが、吹田市はそのデータをもとに「保護樹木制度」を制定し、吹田市内各所に「保護樹木」「保護樹林」を指定した。

10年たった2007年度に2回目調査を行い928本、更に昨2017年度に20年後調査を行い1709本の大木を確認し



(尚文館前クスノキ)

現在、尚文館と名付けられた建物は、1ページにあるように当初グラウンドでした。グラウンドの東南端にあり、伸び伸び育っていたクスノキが、建物の影となりました。2007年はまだ生き生きしていましたが、それから10年、今では徐々に枯れ始め、主幹にも影響が出始めています。何時まで、生き残るでしょうか。



(簡文館前クスノキ)

上記と違って、今春主幹が枯れ、大学当局が全力を挙げ、再生を図っているクスノキです。昨年調査時に木が弱っているものの枯れるとは意識しませんでした。今年4月、新芽の季節に葉が枯れ、そのまま、葉が無くなりました。原因はナラタケモドキ菌によると聞いています。今日確認していただきますが、クスノキは大学当局の努力に答え、新芽が出始めていますので、二世が生き残ってほしいと思っています。。

大学院裏・吹田市最大のイチヨウ →
建物側(東側)の枝切りされているものの順調に伸びている。
↓ご存知、吹田市で最も人気のある9本立ちクスノキ

